

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りぼん i センター		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 4日		～ 令和6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動(製作、トレーニング) 集団活動(集団遊び、調理実習、外出)など 様々なプログラムを取り入れている	固定化しないようにスタッフ間で意見を出し合っている	
2	部屋数も多く、広い テラスで縄跳びや水遊び、家庭菜園も 楽しむことができる	テラスで育てた野菜で調理実習を行う	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるが、エレベーターは設置されていない	階段の上り下りに注意が必要	工事には莫大な費用がいるため実現化は難しい
2	地域の他の子どもと活動する機会がない	土日祝に開所していないため交流は難しい	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りぼん i センター

公表日 令和7年2月26日

利用児童数 25

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3			他事業所と比べてスペースが広めで子供が遊びやすい。	現状の取組を継続している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22			3	1日に何人配置されているかわからない。	余裕を持たすため求人を行っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		3	勉強する部屋などが分けられており子どもがそれぞれプログラムに取り組みやすい環境が整えられている。	現状の取組を継続しながらさらに環境整備に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			1		現状の取組を継続している。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25					現状の取組を継続している。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		現状の取組を継続している。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				面談の前にアンケートを書き面談前に聞き取り等をしてもらってから計画に立案されている。	現状の取組を継続している。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25					現状の取組を継続している。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					現状の取組を継続している。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24			1	毎月たくさんの行事やイベントを開催して下さり子供も楽しく通っている。	現状の取組を継続している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	4	13		現状の取組を継続している。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23			1	書面を通じて行われている。	現状の取組を継続している。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					現状の取組を継続している。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		3	今年はそういった機会が少なかったように思う。	保護者へ更に周知を図るように努める。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1			連絡帳や送迎時に伝え合っていると思う。	現状の取組を継続している。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25				半年に1回モニタリングをしてもらっている。	現状の取組を継続している。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24			1	送迎時に今日あった出来事や子どもの様子を教えて頂きこちらの心配も相談しやすいと思う。	現状の取組を継続している。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	4		6	半年に1回モニタリングをもらっている。	多くの保護者に参加してもらえるような形や日程を工夫していく。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1		1	疑問に感じたことはすぐ連絡できており、対応してくださっている。	保護者へ更に周知を図るように努める。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2			連絡帳やLINEを使ってわからないことなど聞きやすい手段が確保されている。	現状の取組を継続している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2	1	3	・SNS等で情報提供があり把握できるようにしている。 ・HPの更新がされていないと感じる。	保護者へ更に周知を図るよう努める。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			2		現状の取組を継続している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			3		現状の取組を継続している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		1	定期的避難訓練が行われている。	現状の取組を継続している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			3		現状の取組を継続している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			3	きちんと連絡、説明を下さっており状況把握ができています。	現状の取組を継続している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			リラックスして通所できている。	現状の取組を継続している。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2		1	毎回楽しみにしている。	現状の取組を継続している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				本人の状態をよく観察し関わって下さっているのととてもありがたいです。	現状の取組を継続している。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りぼんiセンター		公表日		令和7年 2月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	広いスペースが確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	人員配置は満たしている。	余裕を持たずため求人を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	部屋の中はバリアフリー化されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	清潔で保てるよう毎日の掃除や空気清浄機の使用を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	なっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	職員全員が参加する事は勤務時間上難しい場合がある。	こまめに情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	面談や送迎時に伺うようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	ミーティングや会話の中で伺うようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	実施できていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	虐待研修や感染症対策研修などを実施している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	半年ごとに面談を行いニーズを把握し支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員で意見を出し合い検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	共有されている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	スタッフ間で話し合っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節行事を取り入れたプログラムを考えている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	個別の制作、集団で遊ぶ時間を毎回取り入れて支援をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援開始前にミーティングを行い、参加できなかったスタッフには個別で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	ミーティングを行い、利用者の様子や変化など詳しく記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	保護者の要望と児童の課題を考慮して支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	利用者の気持ちを聞きながら支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	開催される場合には児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	今まで対象者がいない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	送迎時に確認したり、学校から予定表を頂いたりして情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	法人内ではできているが他事業所との共有はできていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	今まで対象者がいない。	対象者が出た場合情報共有を行う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	研修を受ける事はある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	今のところ行っていない。	公園へ出かけた時に交流できないかを考える
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	子ども部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	保護者会の時や個別で相談があった時に行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	面談を行い子どもや保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談には面談や電話等で助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	0	不定期ではあるが年2回ほど交流の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合は迅速に対応するように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	イベントなどの活動の様子・行事予定をSNSで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	わかりやすい伝達を意識し伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	今のところ行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを策定し、訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	アセスメント時に確保している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0	今まで対象者がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	報告書を作成しミーティングで全職員に共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	契約時に説明を行い了承を得ている。		